

2019年1月20日  
口腔がん撲滅委員会

# 徳島大学病院 口腔外科における 口腔がん患者の現況

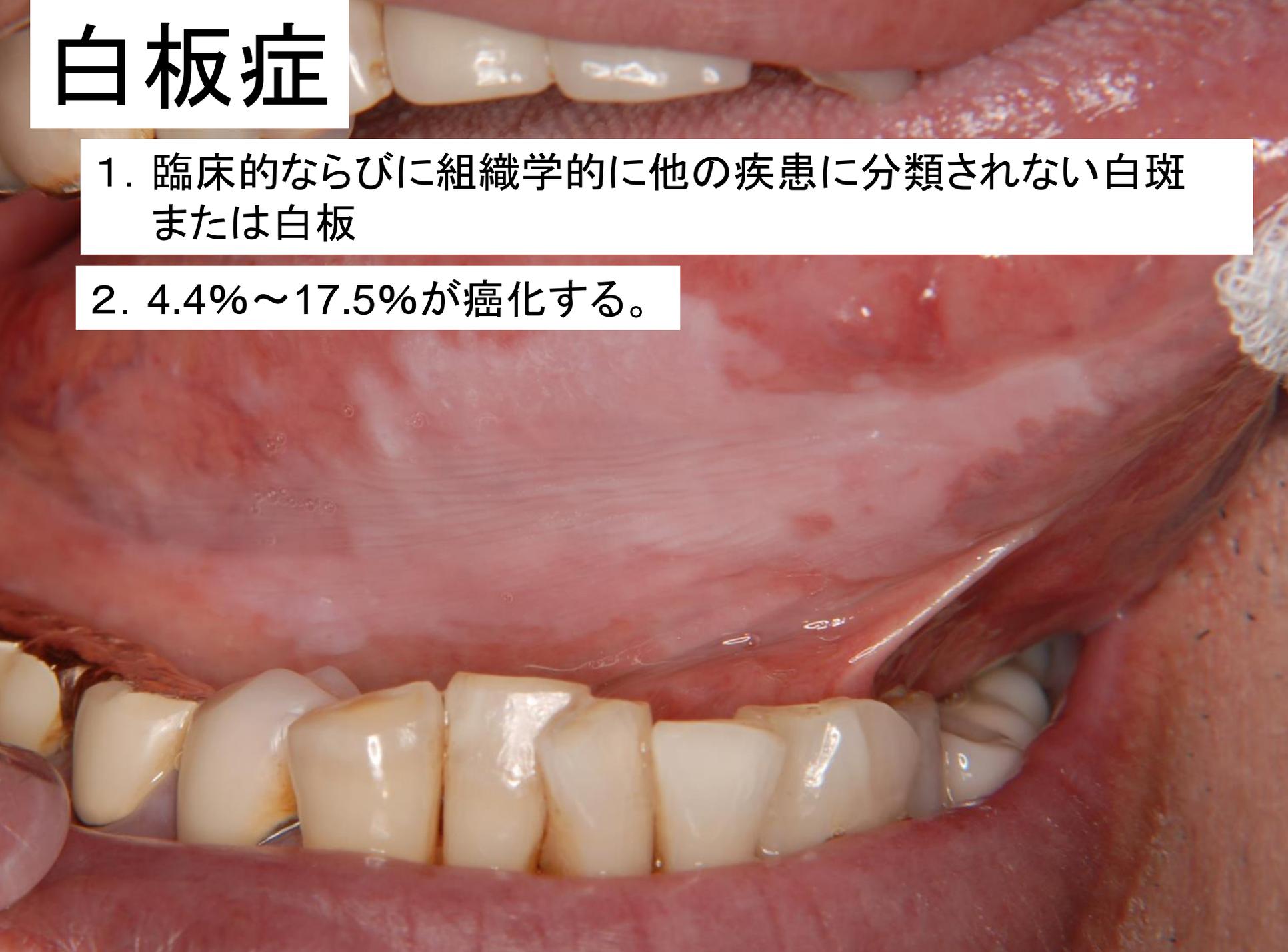
徳島大学大学院医歯薬学研究部  
口腔外科学分野

宮本 洋二

# 私の口演内容

- 1) 口腔がんの**見つけ方**
- 2) 当科における口腔がん**検診の現況**
- 3) 当科における口腔がん**患者の現況と治療および治療成績**

# 白板症

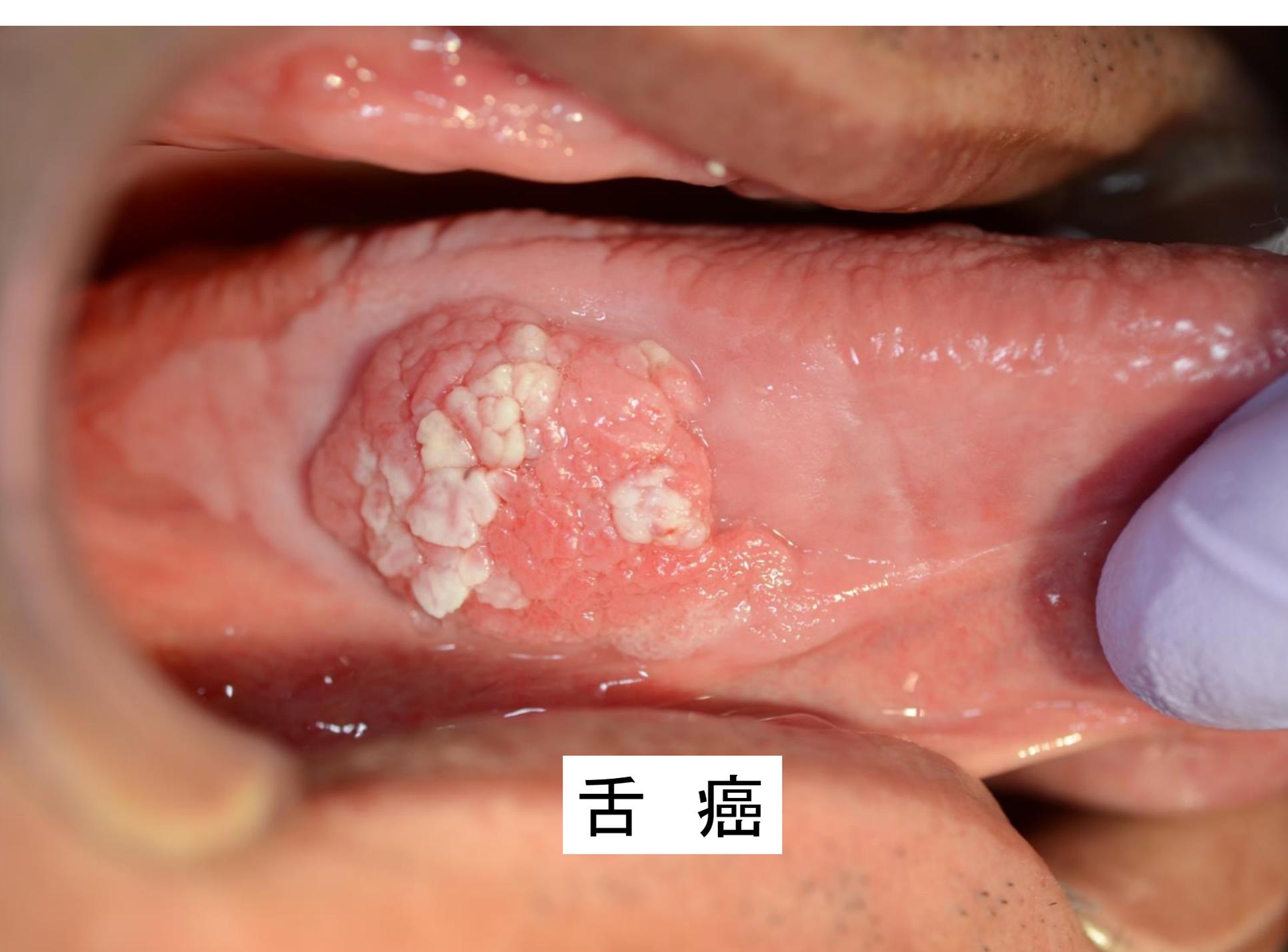
A close-up photograph of a patient's mouth, showing the lower teeth and the buccal mucosa. A prominent white, well-demarcated plaque is visible on the inner surface of the lower lip and cheek, characteristic of leukoplakia (白板症). The plaque has a slightly wrinkled or leathery texture. The surrounding oral mucosa appears normal.

1. 臨牀的ならびに組織学的に他の疾患に分類されない白斑  
または白板

2. 4.4%~17.5%が癌化する。



齒肉癌



舌 癌



# 悪性黒色腫

1. 極めて予後不良。

2. 生検は一般に禁忌。

(治療体制を整えて生検、術中迅速診断)

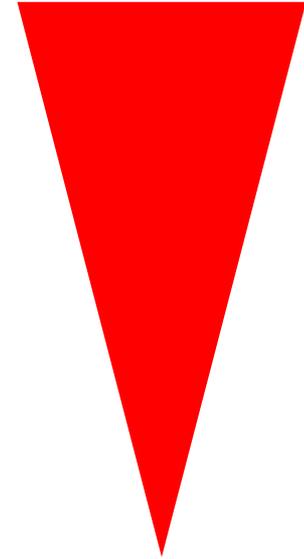
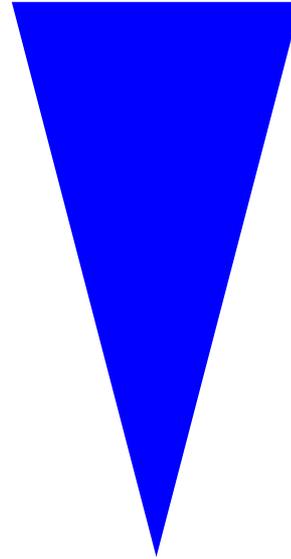


# 口腔癌の治療

治療の確実性

後遺障害

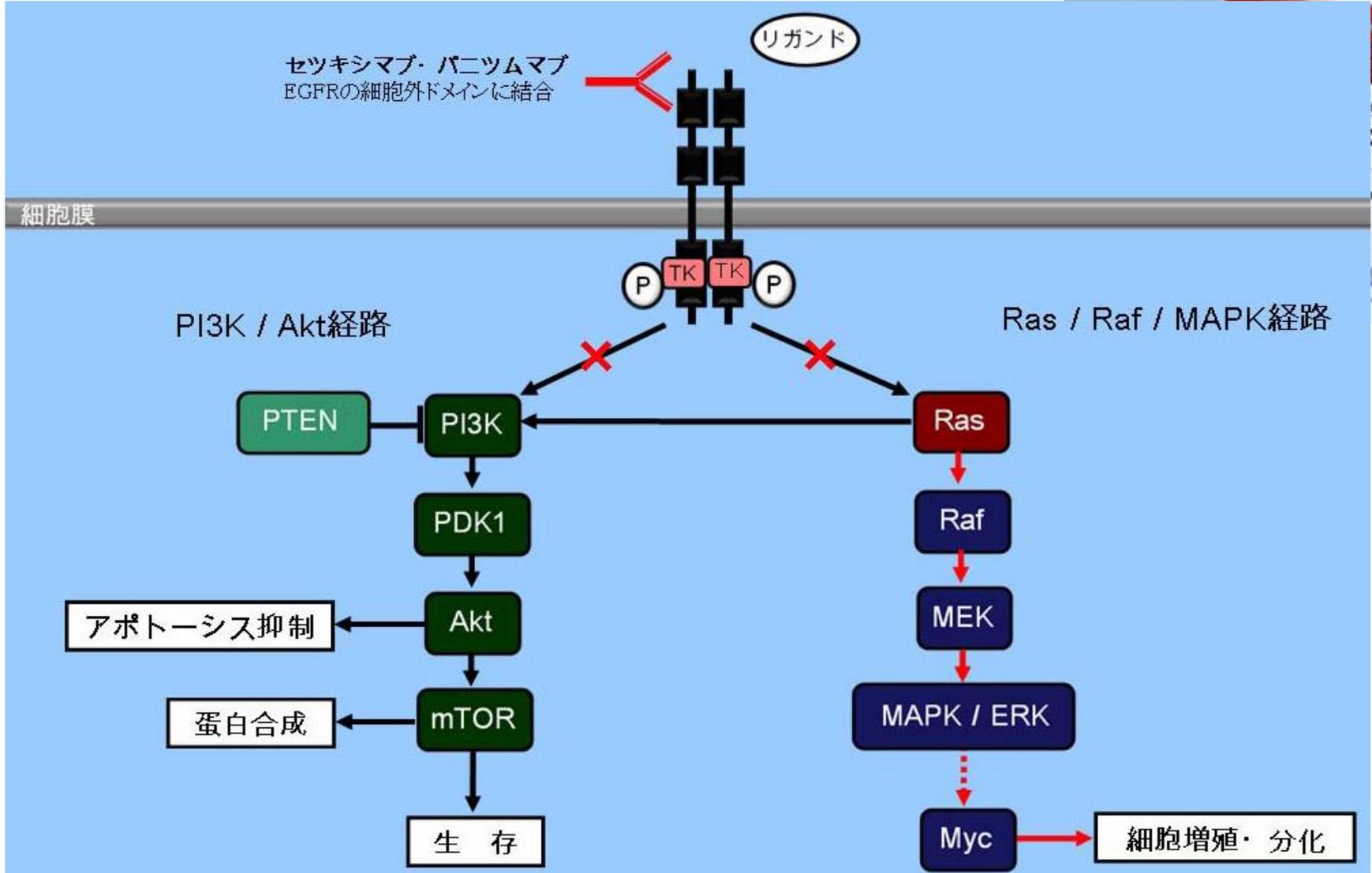
- a) 外科療法
- b) 放射線療法
- c) 化学療法
- d) 免疫療法
- e) その他の療法



・分子標的治療、温熱療法、遺伝子治療など。

# 分子標的治療

抗上皮成長因子受容体(EGFR)モノクローナル抗体  
抗がん剤アービタックス注射液  
(一般名:セツキシマブ遺伝子組換え)

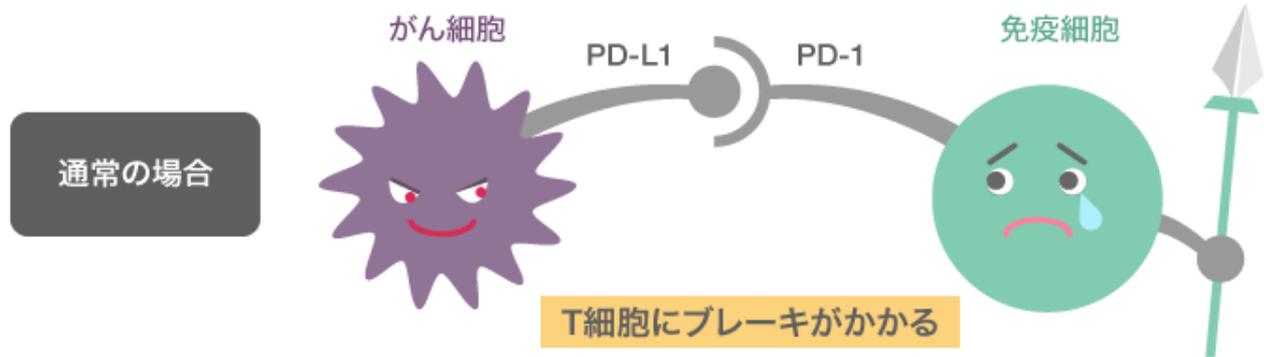


# 分子標的治療

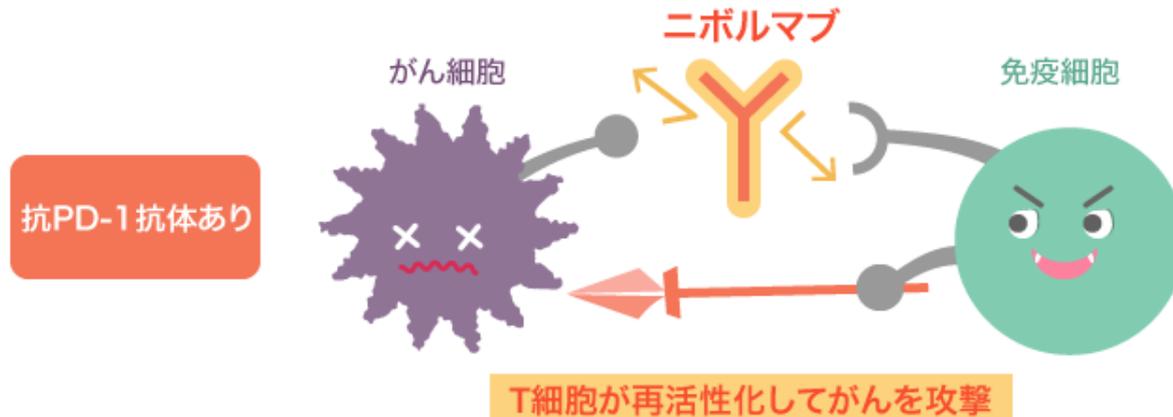
ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体(免疫チェックポイント阻害薬)

商品名: オプジーボ(一般名: ニボルマブ)

抗PD-1抗体の仕組み

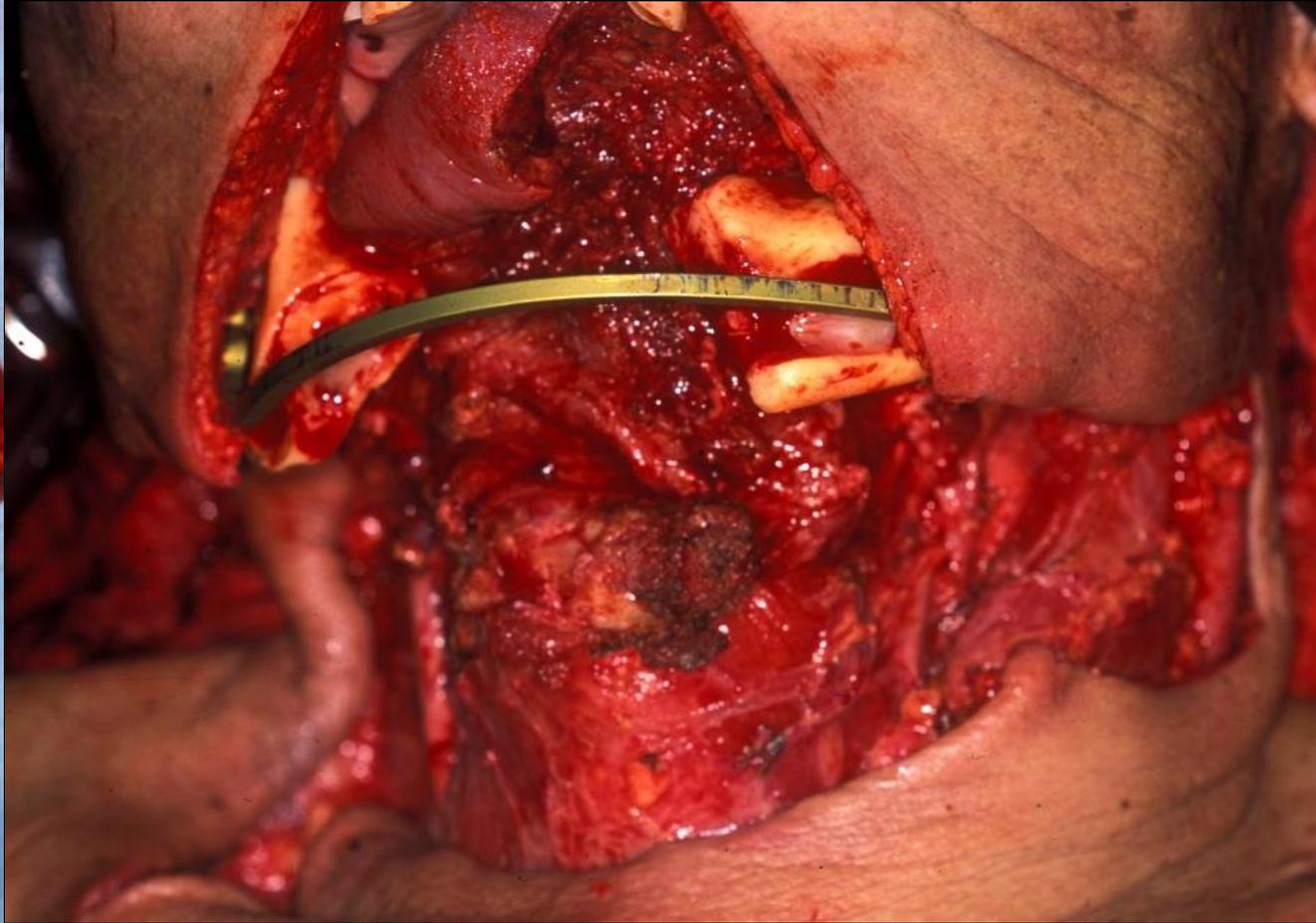
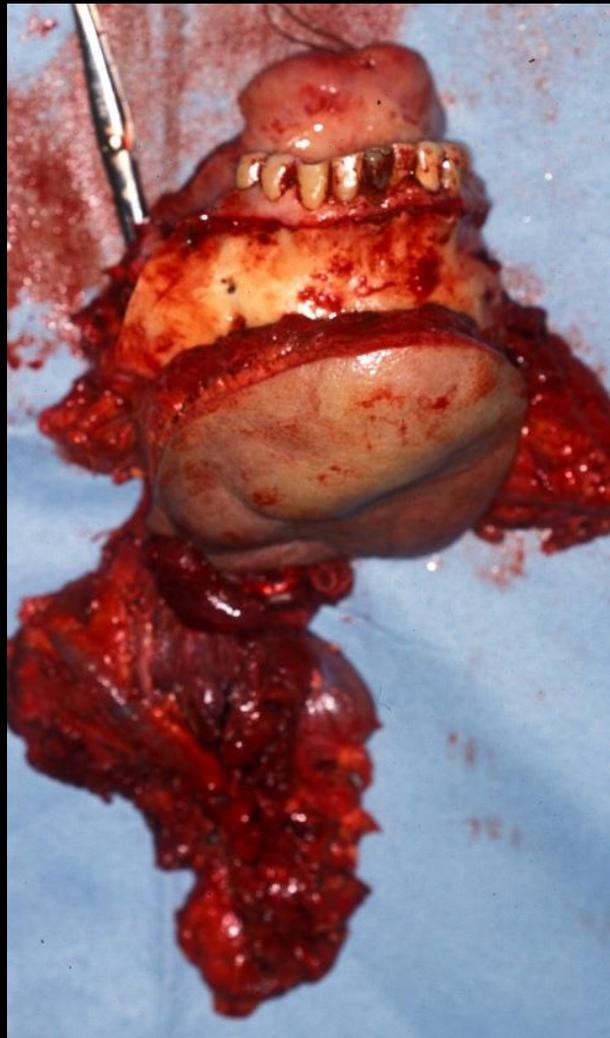


PD-L1とPD-1との結合により、がんが、免疫細胞(T細胞)に対してブレーキをかけて、がん細胞への攻撃が阻止される。



ニボルマブは、PD-L1とPD-1の結合を阻害することで、免疫細胞にかかったブレーキが解除され、T細胞が再び活性化してがん細胞を攻撃する。

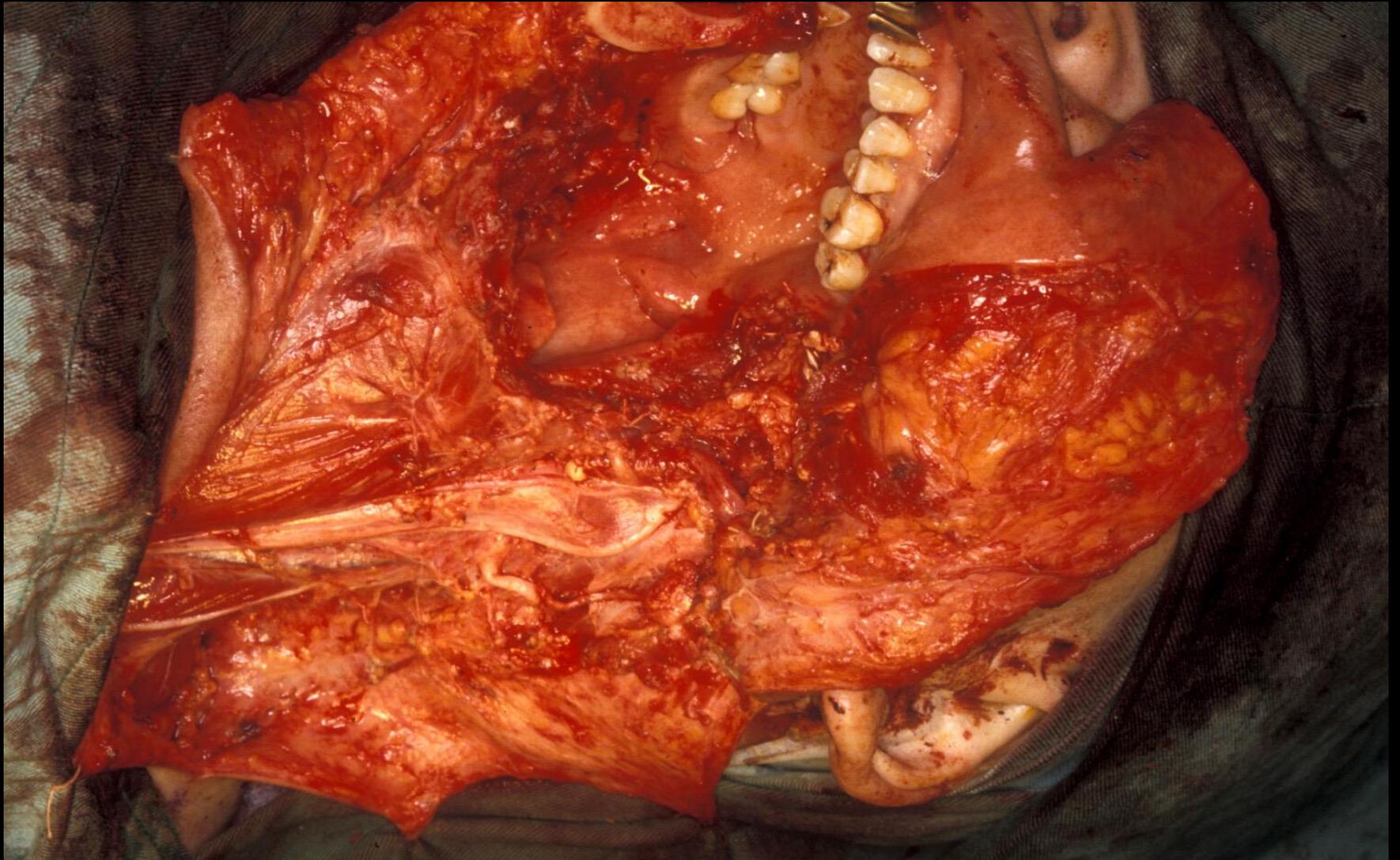
## 再建が必要な2つの理由



十分な原発巣の切除→予後の向上

# 何が予後を決定するのか？

舌癌は初診時30～60%に頸部転移





# 当科における口腔がん検診の現況

## 【発表者】



徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔外科学分野

工藤 景子、鎌田久美子、横田 美保、高丸菜都美  
山村 佳子、大江 剛、工藤 隆治、高橋 章  
玉谷 哲也、藤澤 健司、永井 宏和、宮本 洋二

## 【発表協力者】

阿南市歯科医師会	岡本好史、島田啓次
徳島市歯科医師会	齋賀明彦、坂東光美

# 対象および方法

## ①口腔がん検診実施状況

期 間: 2010年1月～2016年6月(約6年6か月)

回 数: 計21回



徳島大学蔵本キャンパス

### 【実施協力】

徳島県歯科医師会  
阿南市歯科医師会  
徳島市歯科医師会

# 結果

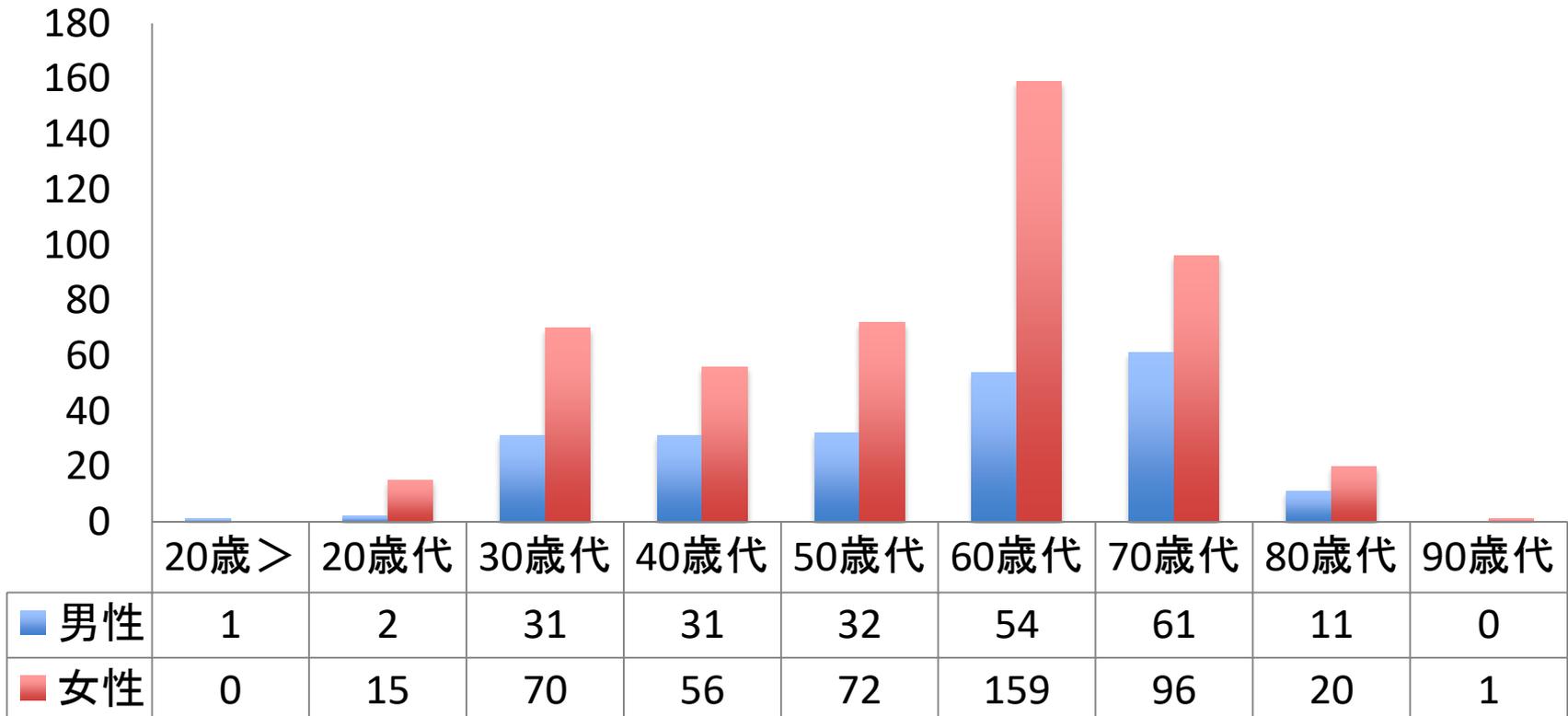
## ①受診者内訳

総受診者数：712名（男性223名、女性489名）

平均年齢：56.3歳（8～90歳）

1:2.2

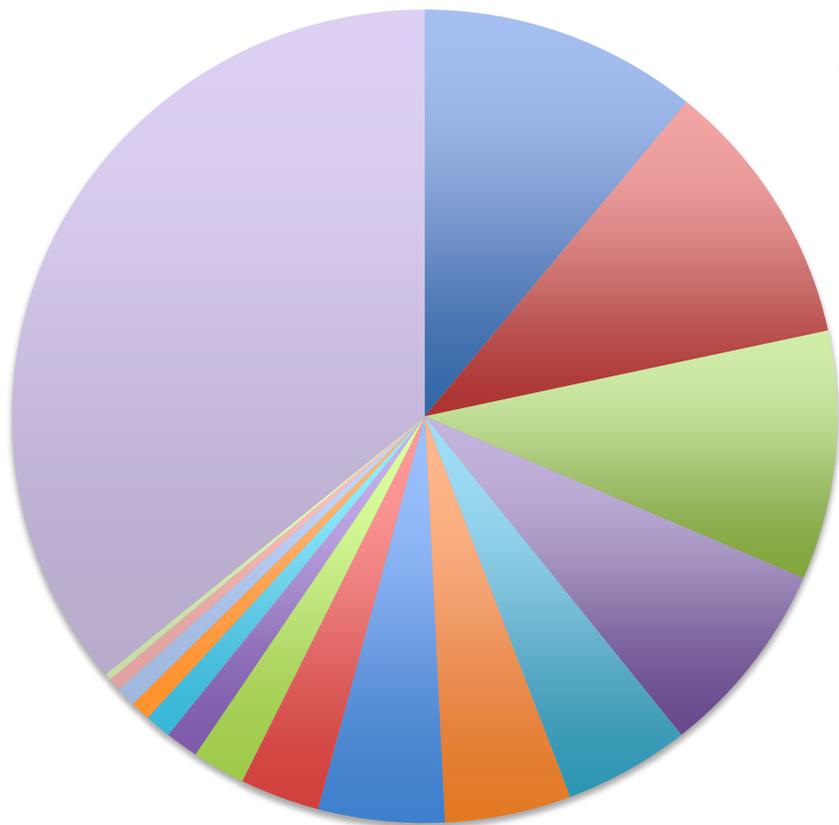
【年代別の受診者数(人)】



# 結果

## ④ 検診結果(内訳)

【“異常あり”384名の内訳】



舌炎	42名
歯肉炎	41名
メラニン色素沈着症	38名
口内炎	30名
良性腫瘍(線維腫、乳頭腫、血管腫など)	19名
血腫	19名
咬傷	19名
白板症	12名
扁平苔癬	8名
褥瘡性潰瘍	5名
智歯周囲炎	4名
粘液嚢胞	3名
舌痛症	3名
口腔乾燥症	2名
舌がん	1名
その他(骨隆起、顎関節症、齲蝕など)	138名

21名

+

30名

=

51名

医療機関への受診を勧めた

# 結果

## ⑤前がん病変と口腔がんの検出率

前がん病変の検出率  
白板症12名/712名  
**1.69%**

口腔がんの検出率  
舌がん1名/712名  
**0.14%**

0.09%  
(3名/3005名;10年間)\*

前がん病変+口腔がんの検出率  
(13名, 712名)  
**1.83%**

0.99%  
(30名, 3005名) 10年間)\*

# まとめ

■ 6年6か月の間に21回の口腔がん検診を実施

■ 検診者総数: 712名 (男性: 女性 = 1:2.2)

■ 検診者の平均年齢: 56.3歳

■ 主訴(受診者の自覚症状): 有り36%  
異常(検診医からの指摘): 有り54%

隔たりあり

口腔がん検診は  
病変を見つける  
大変良い機会

■ 前がん病変検出率: 1.69% (12名/712名)

■ 口腔がん検出率: 0.14% (1名/712名)

併せて1.83%

■ 前がん病変 + 口腔がん検出率:

- ・ 性 差: 有意差なし
- ・ 年 齢: 有意差なし
- ・ 喫煙歴: 喫煙者 > 非喫煙者 (約8倍; 有意差あり)
- ・ 飲酒歴: 飲酒者 > 非飲酒者 (約3.6倍; 有意差あり)

# 最近5年間の徳島大学病院 口腔外科における 口腔がん患者の推移



# 徳島大学病院 口腔外科で 手術を行った口腔がん132症例

- 2007年4月から2013年12月.
- 口腔扁平上皮癌.

年齡; 23~89歲 (平均年齡 68歲)

性別; 男性 68名, 女性 64名

---

原發部位

---

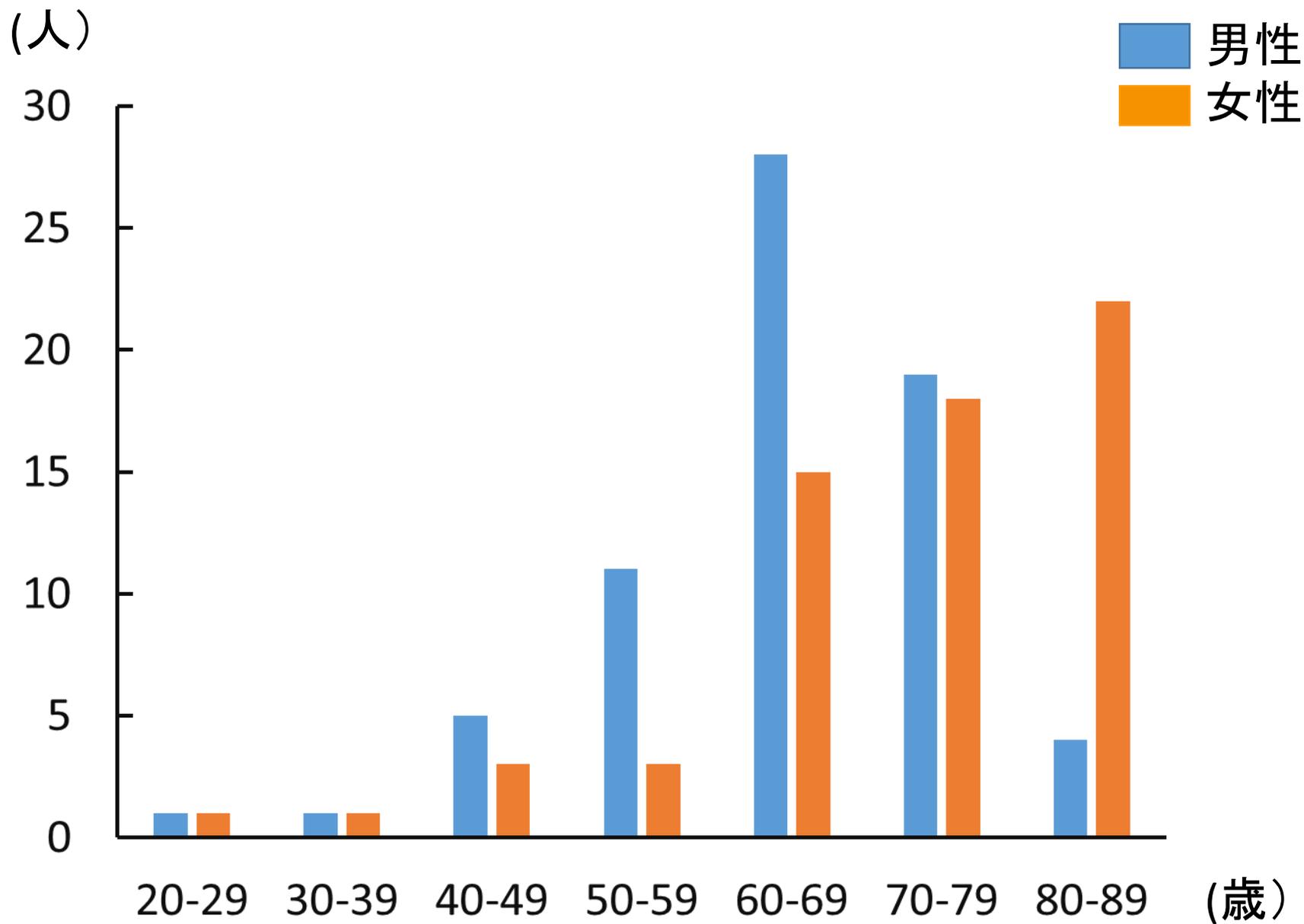
舌	59
下顎齒肉	37
上顎齒肉	15
口底	11
頰粘膜	10

---

計 132

---

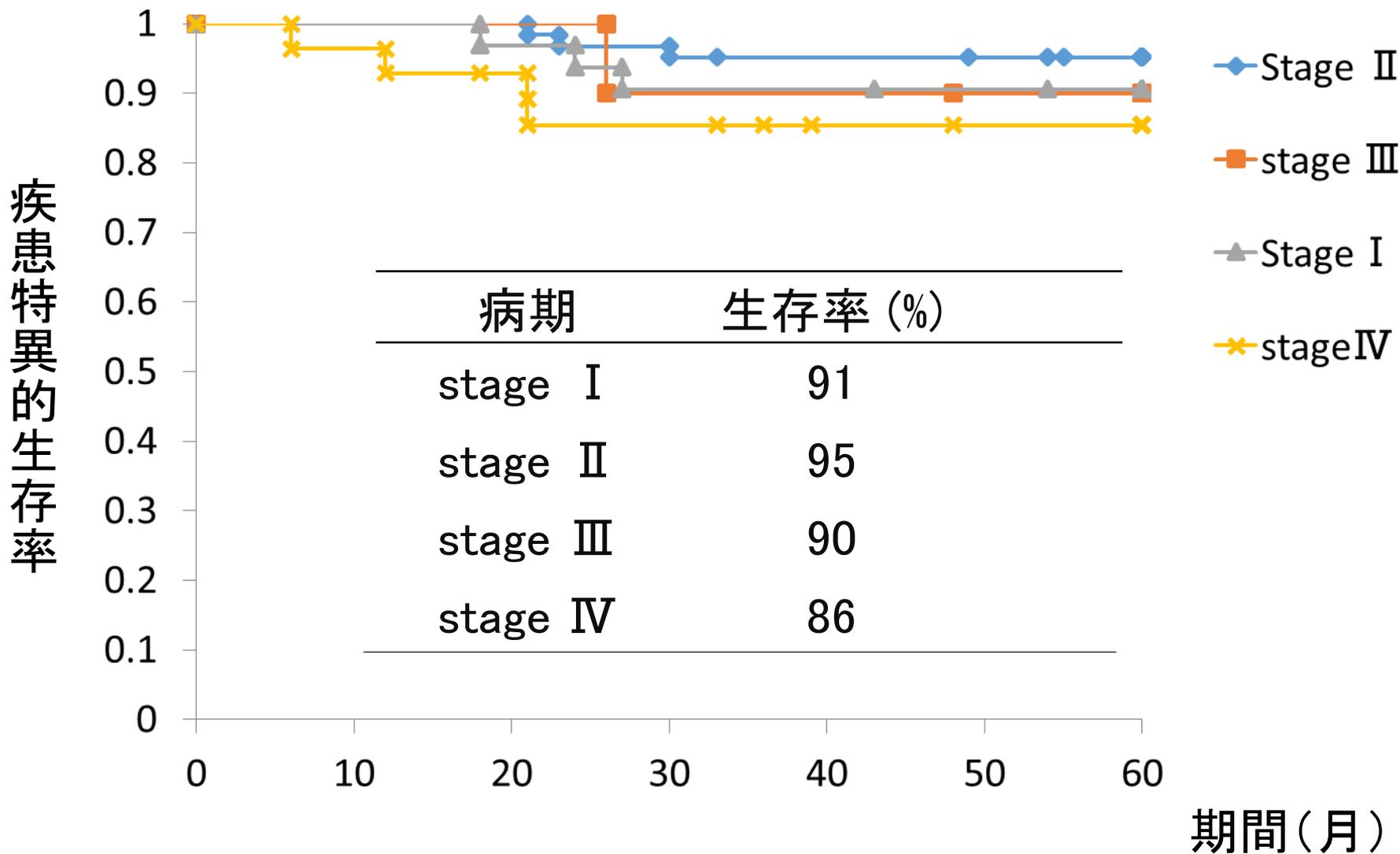
# 年齡・性別構成



# 病期別の症例数

病期	症例数
stage I	32
stage II	62
stage III	10
stage IV	28
計	132

# 治療成績(疾患特異的5年生存率)



# ご清聴、誠にありがとうございました。



## 初診日：月、火、金曜日

1. 水曜、木曜に紹介したい場合は、  
個人宛の紹介状を書いて下さい。
2. 緊急の場合は、宮本に電話して下さい。  
医局：090-633-7354